

【報告】

伐採・製材所見学ツアー開催

ぬくもりある木と暮らす
神山杉の家



役場担当者から、山や木、まちの取組みについてのお話



山の様子についての話しに、木を見上げる参加者の方々



子どもたちもじっと見守っていた息のむ伐採の瞬間



丸太が製材される様子を間近で見学



2020年11月21日(土)、これまで神山町産材利用を進めてきた役場と林業活性化協議会により、伐採・製材所見学ツアーが開催されました。町内外から親子連れでの参加も多く、定員14名でのツアーとなりました。まずは、山の状況や森林整備と暮らしの繋がり、まちの取り組みについて、役場担当者らが、11月に開所したばかりの町産材をふんだんに使用したコモンハウス内で案内をしました。続いて、徳島中央森林組合さんが、実際に伐採作業を行っている名ヶ平へ向かいます。山に響くチェーンソーの音の中、緊張感のある作業の様子や伐採の瞬間を、参加した子どもたちもじっと見守っていました。小西製材所では、長さ6mの丸太を製材する作業を見学。製材された後に出る端材の使われ方に興味のある参加者の方もおられ、製材所の方と話を交わされていました。

参加者の声

町行政の方の思いなどが聞けてよかった。若い方の参加も多く、関心ある方と学べて良かったです。

神山の山を整備することの大切さを学ぶことができました。どんどん木をつかっていきたいと思います。

林業現場の機械化により、作業がしやすくなっていることなど、勉強になったことも多かった。

実際に木を伐採しているところや木材にされるところなど、家をつくる上でとても工夫されているんだなと思った。

普段見ることができない、山の現場が見れてよかった。製材所の方も丁寧に説明してくれて、よく理解できました。

神山町の山から伐採し、製材されたスギ・ヒノキでつくられた、木の香りがする住まいをぜひ、ご体感ください。